

東京聖栄大学 キャンパス通信

東京聖栄大学の入試に関するお知らせ

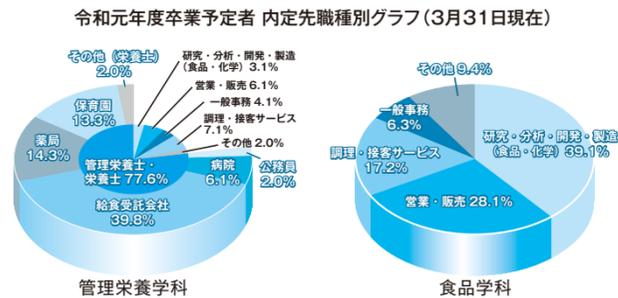
令和2年度入試「卒業生子女等推薦入試」を実施し、2名の学生が東京聖栄大学に入学いたしました。令和3年度入試も実施を予定しており、本入試により卒業生子女等(東京聖栄大学・旧 聖徳栄養短期大学・附属調理師専門学校・旧 聖徳調理師専門学校卒業生の子または在学者の兄弟・姉妹)が本学に入学する場合は入学金の一部が免除される制度です。詳細に関しては東京聖栄大学(03-3692-0211)までご連絡ください。

東京聖栄大学 就職状況について

令和2年3月卒業生の就職率(就職希望者比)は、学部合計で99.4%となりました。卒業生の多くは学業に関連した職種に就職しており、卒業生が就職先で大いに活躍することを期待しております。

就職内定率状況

	内定者数	就職希望者数	就職内定率
管理栄養学科	98名	99名	99.0%
食品学科	64名	64名	100%
学部合計	162名	163名	99.4%



卒業生の皆様より東京聖栄大学の在学生に向けた求人を募集しております

東京聖栄大学の卒業生、前身である専門学校、短期大学の卒業生を含めると約1万人以上の卒業生がおり、多数の方が社会で活躍されております。

会員の皆様の後輩達への求人情報がございましたら右記までご連絡下さい。

また、インターンシップに関する情報につきましても併せてご連絡をお待ちしております。

求人に関するお問い合わせ

学生支援・就職支援課

TEL : 03-3692-0211 (代)

FAX : 03-3692-0248 (直通)

専用お申込みフォームはこちら→

https://www.tsc-05.ac.jp/job_form/



支部通信

聖栄会・千葉支部 短大11期 1975年3月卒 宮山 広美

聖徳栄養短期大学を卒業後、短大の助手として勤務した後、行政栄養士として公衆栄養に携わり、2020年3月で一区切りです。長く専門職として働いていたにもかかわらず、千葉支部の活動を知ったのは10年前でした。

初めて参加した日の帰り道は、何とも言えないほっこりとした心地よい気分でした。諸先生方を初め、お集りになった皆さんのお話を聞き「まだまだ頑張ろう」「まだまだ頑張れる」という気持ちになったことを今でも鮮明に覚えています。これが、千葉支部の醍醐味ではないかと思えます。

最近千葉支部の同窓会に、県外から参加される方もいらっしゃいます。是非、聖栄会だよりをご覧になった皆さん、仕事の有無にかかわらず千葉支部や本校の同窓会にご参加ください。何かいいことや楽しいことがあります。

2019年は、千葉県が台風による大きな被害を受け、幹事の皆さまが再度の日程調整や会場の確保などに、大変ご苦労をされて開催して下さいましたこと、この場をお借りして感謝とお礼申し上げます。

最後に東京聖栄大学の益々のご発展をお祈り申し上げます。

住所・氏名変更に関するお知らせについて

聖栄会は、卒業生の皆様のデータを管理し、その最新データを基に、聖栄会として大学から情報を発信するなど、卒業生と大学とのつながり絆を強化するための事業を推進しています。

住所等変更のご連絡

聖栄会の広報誌などをご登録いただいている住所にお届けしておりますので、住所や氏名などを変更した場合は、下記の変更通知返信フォームにて聖栄会本部事務局にお知らせください。

<変更通知送信フォーム>

<https://www.tsc-05.ac.jp/seieikai/form/form.html>

お問合せ先

TEL : 03-3692-0211 (聖栄会本部事務局)



聖栄会だより

発行 東京聖栄大学同窓会 聖栄会
編集 東京聖栄大学 聖栄会本部事務局

〒124-8530
東京都葛飾区新小岩1-4-6
TEL 03-3692-0211(代)
<http://www.tsc-05.ac.jp/seieikai/>



東京聖栄大学 第12期生学位記授与

東京聖栄大学学位記授与が行われました

令和2年3月15日(日)に東京聖栄大学第12期生学位記授与が、東京聖栄大学のわたなべ記念館において挙行されました。新しい門出を迎えたのは、管理栄養学科103名、食品学科67名の170名が学位記を授与され、新たに聖栄会へ入会されました。学位記授与以外に、4年間の学業成績が最も優秀な者に与えられる学長賞1名、優秀賞8名が表彰されま

した。その他に、全国栄養士養成施設協会会長賞、日本フードスペシャリスト協会会長賞、食品科学教育協議会会長賞の表彰も行われました。

終了後には、各学科に分かれて担任や学科長より卒業に際し、社会で活躍する卒業生へメッセージが送られました。また本会からも、卒業記念品を卒業生全員に配布いたしました。

〈表彰者一覧〉

事項	学科	氏名	備考
学長賞	管理栄養学科	永野 菜緒	
優秀賞 管理栄養学科代表	管理栄養学科	明庭 美穂菜	
優秀賞 食品学科代表	食品学科	渡辺 稜	
優秀賞	食品学科	井上 由加里	
優秀賞	食品学科	小野 有希子	
優秀賞	食品学科	熊谷 沙璃菜	
優秀賞	食品学科	野田 菜冬佳	
優秀賞	管理栄養学科	平賀 みなみ	
優秀賞	管理栄養学科	丸山 幸香	
わたなべ奨学奨励基金 地域貢献 団体系表彰代表	管理栄養学科	上田 美穂	管理栄養学科他 14名
全国栄養士養成施設協会会長賞	管理栄養学科	永野 菜緒	
日本フードスペシャリスト協会会長賞	食品学科	前山 未来	
食品科学教育協議会会長賞	食品学科	篠崎 みよし	



学長より学長賞授与

聖栄会 会長ご挨拶



聖栄会会長

高橋 興亜

東京聖栄大学同窓会「聖栄会」の皆様には、ご健勝のこととお喜び申し上げます。今年も卒業された仲間の参加を得て、更に力強い活動が出来るものと信じております。聖栄会は、大学の前身である栄養専門学校であった昭和32年に会員の資質向上と親睦、母校への寄与を目的に創設されました。長い歴史の中で、高度な知識と技術、実践力の具わった仲間が専門分野で活躍しております。人生100年時代と言われる今、健康寿命の延伸から食と栄養の担い手として皆さんへの期待は大きいものがあります。個々にご活躍されている会員は大勢おりますが、地域組織として活動しているのは、本会で唯一の千葉県支部の皆さんです。支部の増設と組織の拡大強化が長年の懸案であり、それを具体化すべく会則の見直しを進めているところです。ご理解をいただき総会、食文化研究会、大学祭などに出席いただき、前向きなご意見とご協力を賜りたいと存じます。

今年は、オリンピック開催地日本での「栄養サミット」開催、食事摂取基準・診療報酬の改正がなされます。来年は、法改正によりHACCPに沿った衛生管理が制度化されます。変化の激しい社会情勢のなかで関係情報を共有し、聖栄会のより良い運営を図って参ります。

最後に聖栄会の発展と母校の発展をお祈りし挨拶といたします。

聖栄会 名誉会長ご挨拶



名誉会長
田所 忠弘

聖栄会同窓生の皆様へ

大学に対する聖栄会皆様のご協力、ご支援のほど心より感謝申し上げます。第12期生170名の卒業学位記授与も新型コロナウイルス感染拡大防止への協力体制から止む無く縮小、短時間にての実施となりました。しかし、なんとか学位記授与だけは大学として最大限の努力で挙行できました。卒業生にとって一つでも多くのメモリーを刻んで頂くよう、また、災いを転じて福となせるよう新年度は、学部長荒木裕子教授、管理栄養学科長宮内真弓教授、食品学科長北村義明教授の体制で引き続き行い、聖栄会ともより一致協力した体制を引き続き維持して参りたいと思います。これまでの専門学校、短期大学そして大学卒業生の総数は、すでに一万七千名を超すに至っており、また、四年後には第16期卒業生として同窓生を迎え入れて頂くことになり、今後ますます聖栄会一層隆盛の勢いをつけて頂ければ幸いです。

令和元年度も高い就職率と管理栄養士国家試験合格率も高水準維持の順調さ保っております故、一層の大学魅力作りにも聖栄会の皆様には、機会あるごとに積極的な参加とご支援をお願い致し、ご挨拶とさせていただきます。

聖栄会 名誉顧問ご挨拶



名誉顧問
福澤 美喜男

卒業生の皆さんへ

大学は三月十五日に学位記授与が行われ、新たに十二期生の皆さんが新会員になりました。同窓生の皆様には日々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

最近温暖化の影響で台風が大型化し風水害の被害も大きくなってきました。本学の立地条件を考えると水害対策が喫緊の課題であり、一旦水害があれば、大学の機能が完全に失われる為、今年度は「電気設備関係の機器」を高(かさ)上げる工事を行います。

新小岩駅北口広場が整備され綺麗になります。秋には完成すると思いますので大学祭には是非お友達と誘いあってお出掛け下さい。

聖栄会 名誉顧問ご挨拶



名誉顧問
松本 信二

聖栄会へ出席のお願い

本年も新たな卒業生が巣立ち、同時に聖栄会会員として迎えることになりました。新会員の方々には本会の集まりへの積極的な出席をお勧めしたいと思います。本学のような一学部からなる小規模大学では専門性を生かした職場で働くことが多く、同窓会などの集まりでの話題には共通するものが多く良い情報交換の場となります。また、四年制大学としてはまだ浅いものの専門学校・短大時代の大先輩方もおられ、この方々の長い体験から身につけた、貴重な知識・情報をお聞きする良い機会でもあります。勿論皆さんから貴重な話も期待しております。是非この交流の場を生かし、皆さんで聖栄会を盛り上げてください。

聖栄会トピックス

令和元年度 聖栄会総会が 東京聖栄大学内で開催されました

令和元年度聖栄会総会が6月2日(日)、東京聖栄大学において開催されました。

高橋会長(専門7期)が議長に、松崎氏(短大5期)が副議長に選出され、議事に入りました。

高橋会長(専門7期)より次のような挨拶がありました。「日頃から皆様にはご協力いただきまして、無事に1年間終えることができました。本年度は元号が変わり、令和となりました。聖栄会は昭和時代に立ち上げられ、平成、令和と60年余りの歴史となっています。会則に関してですが、この60年の間に社会は大きく変化しています。少子高齢化の影響は大きく、学校運営は厳しいものとなってきました。その変化に伴い、本会の会則も時代に合った内容に適応させていくためにご意見、ご助言をいただきたいと思っております。」

引き続き報告、議事と進行されました。

飯田氏(短大37期)から平成30年度事業報告、吉田氏(短大38期)から平成30年度会計報告があり、会員の拍手を以て承認されました。

続いて令和元年度事業計画案と予算案が提出され、それぞれ承認されました。

総会が終了後、引き続き懇親会が行われました。



聖栄会会長挨拶

令和元年度 聖栄会懇親会が 東京聖栄大学附属調理師専門学校で開催されました

令和元年6月2日(日)、令和元年度聖栄会総会に引き続き、懇親会が附属調理師専門学校にて開催されました。福澤美喜男理事長(本会名誉顧問)、田所忠弘学長(本会名誉会長)をはじめ、多数の恩師の先生方にもご出席いただき、全体で約60名の出席がありました。附属調理師専門学校の教員・生徒による料理に舌鼓を打ちながら、在学中の思い出話や近況報告など、和やかに懇談が行われました。



名誉会長挨拶



全体集合写真

令和2年度 定期総会・懇親会

令和2年度実施予定(令和2年6月7日)であった定期総会・懇親会については新型コロナウイルス感染拡大防止の状況により、延期することとなりました。

今後の開催は状況によって対応を検討しております。ご理解・ご協力の程宜しくお願いします。

聖栄会トピックス



第31回 食文化研究会開催される



令和元年10月6日(日)、フレンチレストラン「バリ 夕顔」にて第31回食文化研究会が開催されました。当日は小雨が降っていましたが、35名と多くの方が参加されました。会は荒木副会長・幹事の挨拶で始まり、松崎副会長による乾杯の挨拶がされ、川口シェフより、料理や食べ方の説明をして頂きました。料理の内容は、アミューズ、前菜の鰻と秋ナスのテリーヌ、カリフラワーのスープ、真鯛とキノコとセミドライトマトのオープン焼き、お口直しのちみつレモンのシャーベット、肉料理のロース

トビーフ、デザートにはエディブルフラワーが散りばめられたロールケーキが出されました。

「バリ 夕顔」はお店のオーナーの趣味で集められた骨董品や美術品の品々が店内に飾られており、まるで美術館の中で食事をしている様な雰囲気でした。フランス料理の盛り付けの美しさを感じながら楽しく食事をする事ができ、充実した食文化研究会となりました。



参加者募集!

第32回 食文化研究会開催します!

今年度は、食文化研究会では初めてとなる「ロシア料理」をテーマとしました。会場は、東京駅直結丸の内ビルディング内の「ゴドノフ 東京」です。ロシア・モスクワにある「ゴドノフ本店」は、世界遺産「赤の広場」に隣った17世紀の食堂跡に建ち、現地では知らない人がいないと言われている超人気老舗レストラン。歴代ロシア皇帝に仕えたシェフたちに受け継がれたという伝統のロシア料理を継承する、由緒正しきお店です。そのようなお店の日本1号店が「ゴドノフ東京」です。



現地でも大人気のロシア料理を召し上がって、ロシアの食文化を学んでみませんか。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◎日 時 令和2年10月4日(日)11時30分から
◎場 所 ゴドノフ東京 丸ビル店(丸の内ビルディング5階)
JR「東京駅」丸の内口 徒歩2分
地下鉄丸ノ内線 東京駅 徒歩1分
地下鉄 大手町駅 徒歩3分
地下鉄千代田線 二重橋駅 徒歩3分
◎参加費 6,000円
◎募集定員 30名

管理栄養士国家試験にチャレンジしている皆様へ 卒業生の国家試験対策を実施しております

毎年、管理栄養士を目指す卒業生の方にも広く参加できるように管理栄養士国家試験対策を提供いたしております。具体的には業者試験10回に参加できるようになっております。この試験に参加することにより、実力アップをはかり、管理栄養士国家試験合格に結びつけられるものと信じております。管理栄養士国家試験に合格するために模擬試験を受験したい卒業生はぜひお問合せください。

TEL:03-3692-0211 (東京聖栄大学 国試対策室)
https://www.tsc-05.ac.jp/

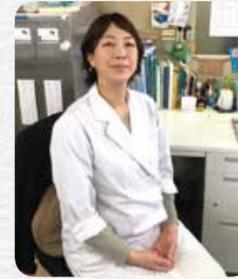
大学ホームページのこのバナーより入れます(PC用)→



※参加ご希望の方は聖栄会事務局までお電話にてお申込みください(電話番号:03-3692-0211)。お申込み受付は先着順となります。定員に達し次第、受付終了となりますのでご了承ください。お申込みいただいた方には、後日ご案内を差し上げます。また、アレルギーがある方は申込時にお知らせください。

同窓生通信

聖徳栄養短期大学 39期卒業生



太田 美幸 (旧姓 古仲) 株式会社 富士商事

私は2000年に聖栄大学の前身だった、聖徳栄養短期大学の食物栄養学科に入学しました。在学中は栄養士の免許を取得するため、学科や実習を受けていましたが、食品学の実験で研究のおもしろさを知り、当時は就職先もあまりなかった食品会社の研究職を選びました。卒業後から現在に至るまで、株式会社富士商事でゲル化剤の研究・開発に携わっています。ゲル化剤の開発に加えて、新しいデザートの開発、ホームページに掲載するレシピの考案等を行っています。どうしたらお客様が作りたくなるようなレシピになるか、味付けや写真の撮り方を、その先にいるお客様のことを考えながら仕事をしていると、とてもやりがいがあります。社内には短大、大学の卒業生も何名かいます。それぞれ研究、営業と部署は様々ですが、在学時に学んできた「食」の知識を多方面で生かし、仕事に取り組んでいます。

仕事を終え家に帰り、2人の子供の育児をして、毎日目まぐるしい日々を送っていますが、2度の育児休業を経て、復職後も安心して戻ってこれることからも、20年という勤続年数からも職場環境の良さがわかるかと思えます。

在学時からの友人達とは、未だに交流があります。それぞれ家庭があり、環境の変化で会える回数は減りましたが、久しぶりに会っても「変わらないね〜」と言ひ合える友人が出来たのは、2年という短いけれど、密接な時間を過ごした聖徳栄養短期大学での生活があったからではないでしょうか。

最後になりましたが、東京聖栄大学の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



東京聖栄大学 11期卒業生



本橋 紀子 銀座アスター食品株式会社

東京聖栄大学食品学科を卒業して早くも1年が経ちました。私は在学中に微生物学研究室で過ごした時間が印象に残っています。厳しくも温かく、卒業論文のご指導をくださった先生方と同期でお互いに意見を出しあい励まし合いながら卒業論文を作成していた時間は大変ではありましたが、とても充実していました。

私は現在、銀座アスター食品株式会社に勤務しています。当社は中国料理レストランの経営およびお持ち帰り用の中国料理の加工販売を行っています。「美味しいものを食べさせてお客様をびっくり仰天させたい」という創業精神のもと、洗練された本物の中国料理を心づくしのサービスや居心地の良いムードと共に提供する事をモットーとしています。大学のインターンシップの授業で参加させていただいたことがきっかけで就職にまで至りました。入社後の研修を受けて店舗に配属され、現在はレストランのフロアでのお仕事をしています。最近では、お客様に自分の顔と名前を覚えてもらったり、「ありがとう」とお礼を言うことが増え、とてもやりがいを感じています。また、大学の先生方が忘年会でご利用いただいた際は自分の成長を見ていただき、とても嬉しかったです。

もうすぐ、新入社員としての期間が終わろうとしています。今まで教えていただいた仕事を次の後輩へ伝え、大学で培ってきたコミュニケーション能力を活かして、頼りになる先輩を目指しています。

最後になりましたが、東京聖栄大学の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



東京聖栄大学 キャンパス通信

宿泊研修 管理栄養学科

BumB東京スポーツ文化館

新入生(15期生)を対象に平成31年4月2日(火)、3日(水)の2日間で東京スポーツ文化館にて新入生宿泊研修を行いました。管理栄養士基礎演習の授業の一環として、国家試験対策、臨地実習に関する講義や在校生による教職課程における教育実習内容や海外研修に関するプレゼンテーションが実施され、更に教員も加わり様々なグループワークやレクリエーションを行いました。

2日間を通して仲間づくりをしながら管理栄養士の国家試験対策の重要性や大学生生活全般について学び、これから始まる大学生活に向けて実りある研修となりました。



食品学科

(1年生:新入生宿泊研修)(2年生:フィールド研修)

新入生(15期生)は入学式後、1泊2日の新入生宿泊研修を栃木県日光市で実施いたしました。学科ガイダンス、豆腐作り体験、おかき工房の見学をしました。2年生(14期生)は夏季休暇中に2泊3日のフィールド研修を長野県伊那市で実施いたしました。そば打ち・おやきづくり体験や飲料・食品工場の見学をしました。宿泊先である高遠さくらホテルには大学が運営する畑があり、そこで野菜を収穫しました。夜にはコース(サイエンスコース・ビジネスコース)分けに向け、各研究室紹介が行われました。食品学科では学年ごとに様々な研修があり、充実した学びをいたしました。



海外研修 食品学科

令和元年度海外食文化研修はスペインに令和2年2月11~17日に20名の参加学生にて実施しました。

バルセロナではランプラス市場、バエリアの料理講習、カタルーニャ地方料理での夕食、マドリッドでは食品市場、地方料理豚の丸焼きの試食などの食文化にふれ、世界文化遺産であるサグラダファミリア聖堂、ローマ水道橋の見学、夕食時にフラメンコ鑑賞し、食文化の体験と共にスペインの歴史と文化に多くふれる機会を作りました。学生たちは日本では体験することの出来ない充実した研修となりました。



海外研修者集合写真

体育祭

令和元年5月25日(土)、東京聖栄大学の船橋グラウンドにおいて体育祭が開催され、聖栄会は協賛参加いたしました。昨年度に引き続き、土曜日に開催されました。

当日は晴天に恵まれ、聖栄会からは、熱中症対策に飴や飲み物等を学生に配布いたしました。今年度の競技は100m走や綱引き、クラス対抗リレーなどの競技が実施され、白熱した戦いが繰り広げられました。学生達は先輩達との交流の機会としても活用しておりました。聖栄会では総合優勝したクラスに対し、荒木副会長より、会長賞を授与いたしました。



聖栄会副会長より表彰

東京聖栄大学 キャンパス通信

聖栄 葛飾祭

令和元年11月9日(土)・10日(日)に「聖栄葛飾祭」が開催されました。今回のテーマは「新時代～食と健康で未来に笑顔を繋ごう～」と題して、平成から令和への新元号となっても、健康を維持する食の重要性はどの時代でも変わらないことを伝え、食を通じて多くの方の健康と笑顔が見られるお祭りにする思いが込められております。

聖栄会では、卒業生同士が交流できるブースを設け、専門学校、短期大学、大学のそれぞれの卒業生が交流を深めておりました。また学友会主催のチャリティー企画「もちつき」に継続的に協賛参加、学友会企画「Seiei Cooking」として一般来場者に対してタイ料理講習会の講師を学友会顧問の荒木裕子教授(聖栄会副会長)が勤めました。



チャリティー企画「もちつき」



* 令和2年度聖栄葛飾祭のご案内について *

聖栄会では、今年度も「聖栄葛飾祭」において、卒業生の交流の場を設ける予定です。会員の皆様だけでなく、友人や家族などと、是非お越しください。

日時 令和2年11月7日(土)・8日(日) 各日10時から16時まで



食品学科 令和元年度 卒業研究発表会の開催

令和2年2月1日(土)に令和元年度卒業研究発表会が開催されました。口頭発表28演題、ポスター発表20演題の合計48演題の発表でした。また、調理技術研修生による成果報告会も行われました。準備から当日の運営まで学生たちが滞りなく行い、活発な質疑応答がなされました。

発表演題の紹介(一部抜粋)

- ▶食品第2研究室(荒木教授) 現代の昆虫食についての研究～昆虫食の現状と新たなレシピの提案～
- ▶食品化学研究室(福田教授) 嗅覚受容体リガンドによる骨代謝調節機構
- ▶応用微生物学研究室(北村教授) 種々の加工玄米を用いた玄米麺の作製とその評価
- ▶調理学研究室(吉田准教授) 埼玉の復興支援と商品開発
- ▶食品開発研究室(塩谷教授) 煎り落花生味噌の抗酸化活性
- ▶食品衛生学研究室(伏脇教授) つなぎの違いによる蕎麦のテクスチャーの変化
- ▶食品加工研究室(片山准教授) アセスルファミカリウムの安全性評価
- ▶食品流通研究室(藤島客員教授) 食品流通システムの変化とその要因



ポスターによる研究発表



口頭発表

管理栄養学科 令和元年度 臨地実習報告会

管理栄養学科では、臨地実習先で各々の学生が経験したこと及び研究内容を持ち帰り、実習内容を多くの時間をかけて報告書にまとめ、実習で得た知識の理解を更に深めるために臨地実習報告会を行っております。

報告会は1日をかけて、分かりやすくまとめたパワーポイントを使用して報告を行い、来ていただいた教職員および実習施設の先生方よりご講評いただきます。次年度の学生にとっての勉強の場となり、報告後は学生間で活発に質疑応答が行われます。また、報告会後は報告書を整理し、修正作業を経て、製本を行っております。

令和元年度は病院・介護施設(6月22日)、事業所(10月26日)、保健所(11月30日)実習報告会を開催いたしました。



実習報告